

PUBLIC RELATIONS

広報・プロモーションゼミナール



01 建築写真の 上手な撮り方



Neoma Leaders Club

建築写真の上手な撮り方

撮影前の3つの準備

機材の準備	01
水平垂直をとる	02
明るさのバランス調整	03

構図の話

特色を理解する	04
撮影したい広さを考える	05
撮影する方向を考える	06 — 12
撮影後の処理について考える	13

光の話

光の種類	15
外の光と時間帯と方角	16
天気を考える	17

イメージ写真を撮影する

机の上の造花にピントを合わせた写真。	18
奥の階段にピントを合わせた写真。	19
洗面所に入った時のイメージがしやすい写真。	20
タイルや蛇口の形状がわかりやすく光が気持ちの良い写真。	21
部屋に入った時の雰囲気や素材感を感じる写真。	22
人を入れた写真。	23
SNSに投稿することも考えましょう！	24

おすすめのツール紹介	25 — 26
------------------	---------

撮影前の3つの準備

01

機材の準備

02

水平垂直をとる

03

明るさの
バランス調整

01

機材の準備

三脚

三脚を使用することのメリットとして、手振れがしない撮影はもちろんのこと構図をしっかり考えることができます。例えば撮影して、一度画像をチェックしてみたらゴミが入ってた...なんてことも三脚を添えた撮影であれば細かな調整をして、同じポジションで撮影することも可能となります。三脚は高さを柔軟にカメラを固定しながらでも角度を自由に調整できるもよような機能や、使用している素材（アルミやカーボン等）によっても値段が大きく違います。どのようなものが良いかは実物をみていただくのが間違いないかと思います。おすすめは写真のようなカメラを付けてからも3方向に動かせる三脚です。



リモートシャッター

手ブレが気になる方はカメラ本体に触れずにシャッターを切れるアイテム「リモートシャッター」をおすすめします。こちらを装着して撮影すると、より安定した撮影ができます。リモートシャッターは有線のものから Bluetooth のものまで様々あります。携帯用のは 100 円均一でも目にします。様々な種類お値段のものがありますが、無線のもので安価なものは時々不具合もあるため、有線のほうがおすすめです。



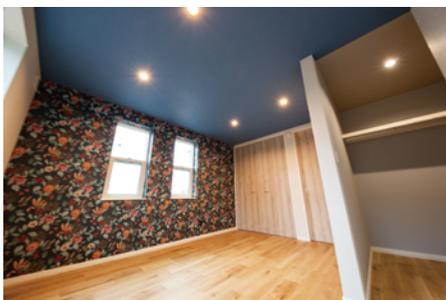
なぜ水平垂直をとるの？

- ・不安定な違和感のある写真になってしまう。
- ・写真が下手に見えてしまう。
- ・撮影後に大きな修正が必要になる。

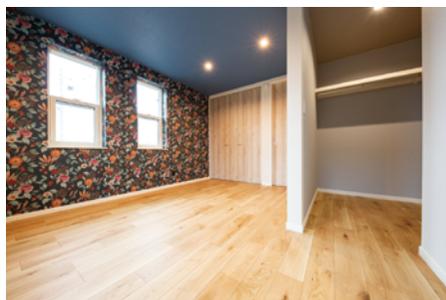
建築写真は水平垂直がズレると、とたんに不安定な違和感のある写真になってしまいます。photoshop や修正アプリなどで修正することも可能ですが、歪みが大きいほど画像の仕上がり精度が落ちてしまいます。最初からきちんと撮影することが建築写真のコツです。しかし、目視でなんとなく水平垂直をとるのは難しいです。

水平垂直を気を付けた写真の例

水平垂直をとらない写真



水平垂直をとった写真



左の写真は水平垂直をとらずに撮影した写真です。
歪んでおり、上下左右のバランスに違和感を感じます。
右の写真は水平垂直をとり撮影した写真です。
修正などは全くしていないが、バランスが取れており綺麗に撮影できています。

水平垂直をとる方法

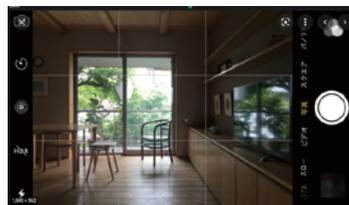
一眼レフの場合

水準器を使用する。



スマホの場合

グリッドを出して確認する。



水準器を使用しましょう。三脚に装備されている場合もあります。
最近のカメラには水準器機能が備わっているものもあります。

正面からの撮影の場合

建物の
水平垂直に
合わせれば

OK



斜めからの撮影の場合

構図の中心に近い
建物の垂直部分に
合わせれば

OK



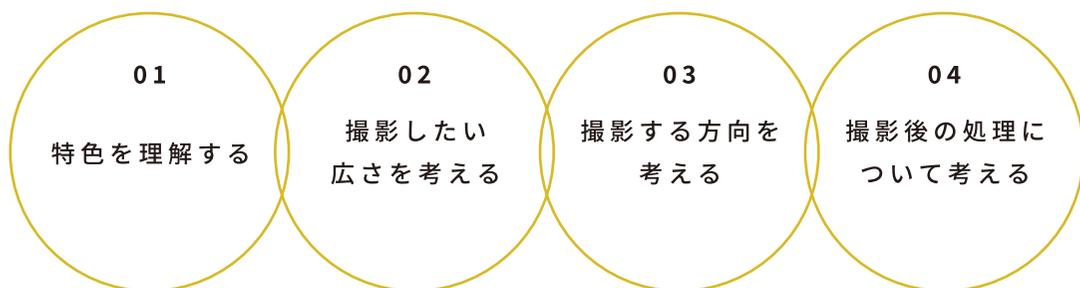
03

明るさのバランス調整

大きな照明などは一切使用しません。使用するの自然な光や備え付けの照明のみです。

撮影に入る前に明るさのバランスを決めましょう。画面を確認しながら明るさの設定してください。

構図の話



01 特色を理解する

撮影をする際に重要なのは、

撮影する家の特色を理解することです。



- 家の見せ所はどこか？
- どんな材質を使用したのか？
- 家をつくる際にどこをこだわったのか？
- お客様におすすめしたいポイントがあるか？



このような特色を整理した上で撮影に入りましょう。

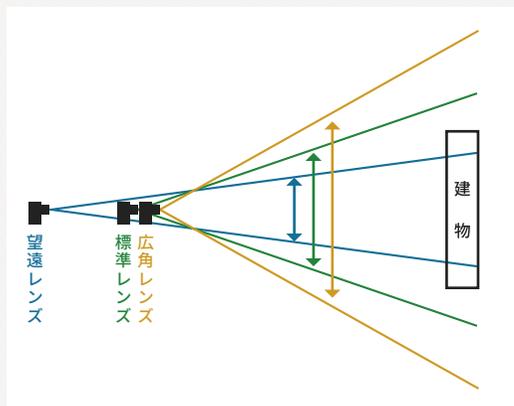
広く見える写真を撮るなら

広角レンズ

家の広さを見せる為にはレンズの選び方も重要です。広角レンズとは広く撮影できるレンズのことです。広角レンズは大きな建物や広い場所を撮影する際に肉眼よりも広範囲を撮影できるので必須になるアイテムです。レンズの表記にされている〇〇mmとは焦点距離といいます。焦点距離は下図のように種類が分別されます。



mm 数が短いほど写る範囲が広くなり、長いほど狭くなります。



一眼レフを持っている方は 24mm 以下のものを用意すると広く場所を撮影する際に対応できます。尚、スマートフォンのレンズは機種によっては異なりますが、大体 24mm から 35mm までの範囲が多いです。より広角で撮影したい場合は広角レンズ変換アイテムを使用すれば更に広く撮影することができます。しかし、広角レンズの短所として、目の前に写る物レンズの構造上は見た目より大きく写り、奥のものは小さく写る現象が起きるので撮影をする際はカメラの近くにある障害物には気をつけてください。

スマートフォンの場合

広角モードにする。
スマホ用広角レンズアクセサリーをつける。



正面からの撮影

正面から撮影すると安定感がでて、
落ち着いたあるかっこいい印象の写真になります。



斜めからの撮影

斜めから撮影すると、広く見えるように撮影できます。
しかし、どこまで入れて良いか配慮が必要になります。



目線の高さからの撮影

目線の高さから撮影すると、素直な印象を受けます。撮影者からみて、そのまま見た目線になるからです。



素直なアイレベルからの水平アングル



低めのアングル

**撮影する方向、目線の高さで
何を伝えたいのかが変わってくる！**

CASE STUDY

1

居間からダイニングにかけて広いところがお気に入り。

床の無垢材にこだわりました。

壁の一部をグレーにしたデザインも大好きです。

悪い例



良い例



悪い例の写真は視線の高さが上気味です。床の素材を見せたいという要望に答えられていません。良い例の写真は絨毯をはずし撮影視線を低くしたことにより、特色を写真の中で伝えられるようになっています。同じ場所からの撮影でもアングルと撮影の要点を掴むだけで写真の雰囲気は変わります。

POINT

- ・床の面積が大きく見えるのはどちらか
- ・家が広く見えるのはどちらか
- ・気持ち良くバランスが良いのはどちらか

CASE STUDY

2

UTを広く見せたい。

窓が一つしかないのですが明るいで雰囲気にしたいです。

悪い例



良い例



同じ洗面所を撮影している画像になりますが、一枚の写真で特色を伝えられているのはどちらでしょうか？

悪い例の写真は収納スペースがわかりますが、少し狭い印象を受けます。

せっかくの窓も見えずに暗い印象を与えてしまいます。

良い例の写真はお風呂と洗面所がある場所ということがわかります。

窓があることもわかり日差しが入る場所ということも説明できます。

POINT

- UT が広く見えるのはどちらか
- 明るく見えるのはどちらか

CASE STUDY

3

どんなキッチンがついているか見せたい。

キッチンが主役になるように見せたい。

悪い例



良い例



広くみせることは建築写真の特徴ではありますが、必ずしもそれが正しいわけではありません。悪い例の写真のように広く撮ると広さはわかりますが、どこを中心に見せたい写真なのかわかりません。良い例の写真は撮影したい場所に要点を絞こんだ為、すっきりしキッチンに目がいくような構図になっています。

POINT

- 広く見せようとして何が主役か分かりづらくなっていないか
- 見せたいものがわかりやすいのはどちらか

撮影後の処理をすることで一番違いが出るのは、外観写真です。

撮影段階で少しでも状態が良い方が綺麗に仕上がる！

外観撮影は水平垂直をとることは難しく、まっすぐカメラを構えるのは家の高さと同じ背丈にならなければいけません。しかし、現実的にその準備をすることは難しいです。なのできちんと撮影できているように見せるにはどうしても後処理が必要になります。後処理が少しでも少なくなるように撮影することが大切です。

POINT

1. 平行で撮影する
2. 離れたところから撮影する。
3. 補正を前提とした広さで撮影する。

1

脚立を使ってなるべく高いところから平行で撮影する。

脚立なし



脚立あり



同じ高さまでは難しくても、脚立にあがると撮影の段階で画像の歪みが緩和されます。

2

なるべく距離をとって、
離れたところから撮影する。

敷地内から撮影



敷地外から撮影



近づきすぎると広角レンズで広い絵にする必要があります。その場合、レンズの性質上歪みが激しくなってしまいます。それだけではなく、屋根などの見せたい場所が見えなくなってしまうことも。一番見せたい場所を選びつつ、なるべく距離をとりましょう。

3

どうしても歪んでしまうので、
補正を前提とした広さで撮影する。

補正なし



補正あり



補正した場合には右図のように欠損部分が出てしまいます、撮影する際は広めに撮影しましょう。

撮影後の処理におすすめなツール

ダウンロードは 25 ページから



Lightroom



Photoshop



Snapseed

光の話

01

光の種類

02

外の光と
時間帯と方角

03

天気を考える

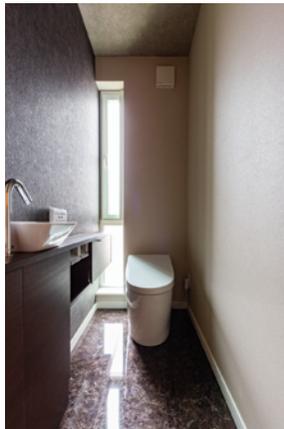
使う機材に関わらず写真の仕上がりを大きく影響を与えるのが光です。
光の当たり方を理解して撮影するだけで物件の見え方の印象が大きく変動します。

01

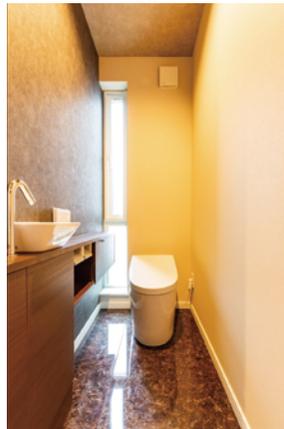
光の種類

建築撮影を行う上で、大きなストロボなどの照明器具を使わずに、外光や家の電気などの自然光で撮影をすることがほとんどです。下記の写真は同じ場所から全く同じ構図で撮影したものです。

A. 自然光のみの場合



B. 照明をつけた場合



Aは自然光を取り入れたことで、床面の色や壁の色の素材色が見やすく光が入る印象を受けます。
Bは白熱灯を使用している為、周りの色味が影響を受けるようになります。
こちらが蛍光灯であれば白っぽい色になります。電球の色をきちんと見せたいのであれば、
外光が入らないように工夫をすることが必要になります。
光の使い方で違う家のような雰囲気になります。

自然光を取り入れる場合、時間帯と方角をきっちり把握することが必要です。
下記の写真は南東方面に窓がある部屋の写真です。

A.10:00



B.14:00



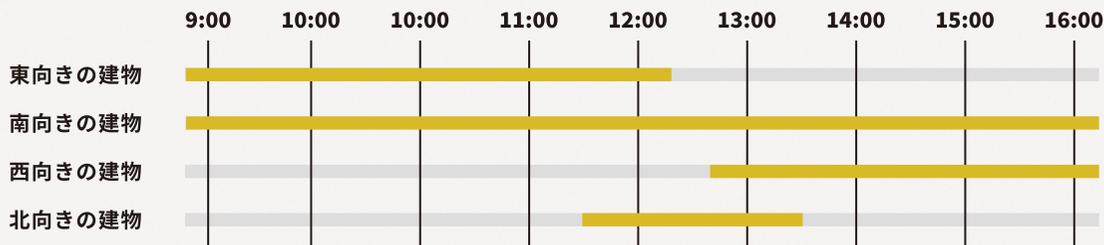
午前が一番光が入る部屋で撮影しています。

Aは明るい印象を受けます。Bは太陽の位置がそれて、光が自然と回っていますが
少し暗いイメージになりました。時間が変わるだけで部屋に入る光の役割が違ってきます。

太陽の動きと影（南向きの建物の場合）



施工写真がきれいに撮れる時間帯



季節により、太陽の高さや日の出・日の入りの時刻が異なりますが、おおよその目安にしてください。
北側は陰になって終日暗いので、できるだけ明るく撮るために、太陽が一番高い時間帯を選びましょう。



光が強いと場所によって明暗差が生まれ、影が模様になって見えることがあります。これではイメージ写真では使えても、説明を目的とした写真としては使用しづらくなります。説明を目的とした写真を撮りたい場合、曇りの方が撮影を行いやすいです。曇りだと太陽の前に雲が入り、光を均一にしてくれるので、影が出づらくなるからです。

このように光によってできる光の当たり方や、影のつき方で被写体の印象は大きく変化します。被写体の印象、見せ方を考え、撮影を1日で終わらせるのではなく天候と相談しながら進めていくことをおすすめします。

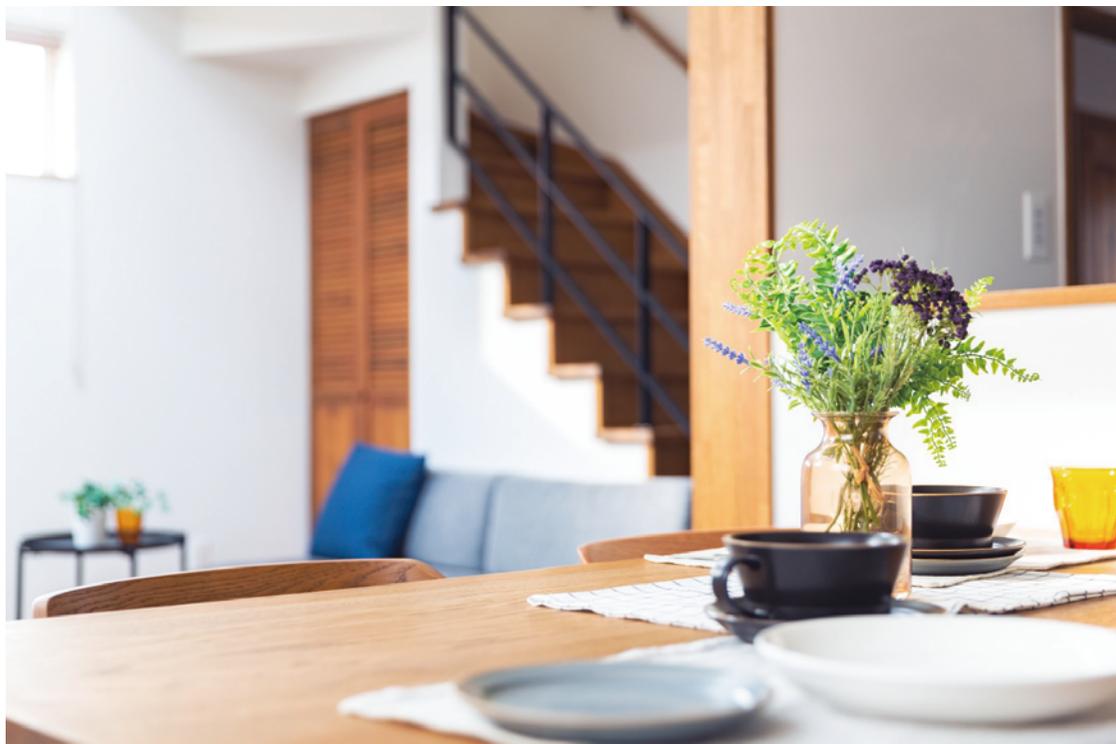
太陽の方角を見るのにおすすめのツール

ダウンロードは25ページから



Sun Surveyor

イメージ写真を撮影する



机の上の造花にピントを合わせた写真。



奥の階段にピントを合わせた写真。
ピントの合わせ方で写真の主役は大きく変わります。



洗面所に入った時のイメージがしやすい写真。



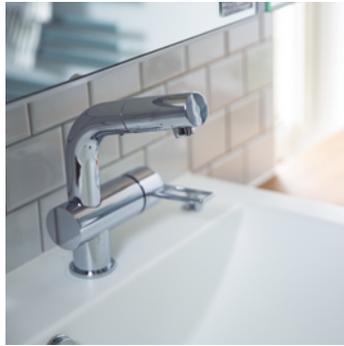
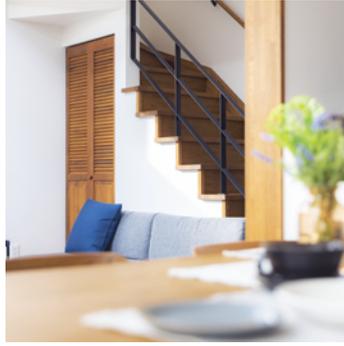
タイルや蛇口の形状がわかりやすく光が気持ちの良い写真。



部屋に入った時の雰囲気や素材感を感じる写真。



人を入れた写真。
人が入るとお客様も、住宅を購入した後の想像が広がります。
(一眼レフでシャッタースピードを設定して撮影)



SNS に投稿することも考えましょう！

使用する SNS によって載せる写真の比率は変わります。
どんなトリミングをしても使用できるように、撮影の段階でイメージし
余白をもたせ撮影すると加工がしやすくなります。



Photoshop

写真や画像の加工・色の調整、複数画像の合成、
テキストの追加や装飾などが自在に行えるツールです。



Lightroom

デスクトップ版、モバイル版、オンライン版が利用でき、
いつでも高度な機能を使った写真編集がおこなえます。





Snapseed

無料アプリですが画像の色加工などはもちろんのこと、
画像の編集が途中保存や画像サイズが変更できるなど多機能・高性能アプリになります。



App Store



Google Play



Sun Surveyor

VRで現在の位置から手軽に太陽の位置を把握できます。無料版のLIGHTでも十分ですが、
有料版はオフラインでも使用ができたり、全ての機能が使用できます。





Neoma Leaders Club

PUBLIC RELATIONS

広報・プロモーションゼミナール

建築写真の上手な撮り方